

米子工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	工学基礎		
科目基礎情報							
科目番号	0014		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	総合工学科 (電気電子コース)		対象学年	1			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	各コース教員からの配布資料						
担当教員	松本 至, 矢壁 正樹, 早水 庸隆, 本村 信一, 河野 清尊, 中山 繁生, 井上 学, 田中 晋, 高増 佳子, 小椋 弘佳						
到達目標							
総合工学科として、工学の基礎について学ぶ。 特に以下のことを学び、コース選択の準備に役立てる。 1. 5コースの概要と専門分野などについて知る。 2. 5コースの卒業研究内容などについて知る。 3. 5コースの進路先 (就職や進学) についても知る。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1 5コースの概要と専門分野	概要と専門分野についてよく理解している	概要と専門分野についてだいたい理解している	概要と専門分野についてあまり理解していない				
評価項目2 5コースの卒業研究内容	研究内容についてよく理解している	研究内容についてだいたい理解している	研究内容についてあまり理解していない				
評価項目3 5コースの進路先	進路先についてよく理解している	進路先についてだいたい理解している	進路先についてあまり理解していない				
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A							
教育方法等							
概要	初めは各コースの施設見学などにあて、その後2回ずつx5コースで各コースの概要と専門分野についてと卒業研究などと進路先について説明を受ける。						
授業の進め方・方法	見学は1コマずつx5コースに分かれて施設を巡るが、その他の授業はBYODを活用して各教室でオンライン(Teams)の各自パソコンにて講義を受ける。講義では毎回ごとに小テストをFormsで実施するので、集中して講義を受けるようにしてください。						
注意点	欠席して講義や小テストを受けなかった場合は、後日Teamsにアップしてある講義を視聴して、Formsの小テストにも取り組んでください。						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応			
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業							
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス	授業の概要を理解する			
		2週	2コースの施設見学	2コースの施設について知る			
		3週	2コースの施設見学	2コースの施設について知る			
		4週	1コースの施設見学 コース希望調査 (1回目)	1コースの施設について知る			
		5週	Mコースの概要と進路先	Mコースの概要と進路先を知る			
		6週	Mコースの専門分野と研究内容	Mコースの専門分野と研究内容を知る			
		7週	Eコースの概要と進路先	Eコースの概要と進路先を知る			
		8週	Eコースの専門分野と研究内容	Eコースの専門分野と研究内容を知る			
	2ndQ	9週	Jコースの概要と進路先	Jコースの概要と進路先を知る			
		10週	Jコースの専門分野と研究内容	Jコースの専門分野と研究内容を知る			
		11週	Cコースの概要と進路先	Cコースの概要と進路先を知る			
		12週	Cコースの専門分野と研究内容	Cコースの専門分野と研究内容を知る			
		13週	Aコースの概要と進路先	Aコースの専門分野と研究内容を知る			
		14週	Aコースの専門分野と研究内容	Aコースの専門分野と研究内容を知る			
		15週	振り返り コース希望調査 (2回目)	コースを選択する			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
分野横断的能力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。	1			
			公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	1			
			経済的、環境的、社会的、倫理的、健康と安全、製造可能性、持続可能性等に配慮して解決策を提案できる。	1			
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---